

令和2年度経営計画

1. 経営方針

(1) 業務環境

1) 兵庫県の景気動向

令和元年度の兵庫県の景気は、高水準の設備投資や雇用・所得環境の改善を背景として緩やかに拡大してきましたが、先行きは極めて憂慮すべき状況となっています。

今般発生した新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナウイルス感染症」という。）が本県経済はもとより、世界経済に大きな打撃を与えることが必至の情勢となっており、これに臨機かつ柔軟に対応していくことが求められています。

2) 中小企業・小規模事業者を取り巻く環境

新型コロナウイルス感染症の拡大により、中小企業・小規模事業者においても事業の先行きが見通せず、資金繰りに影響が出てきています。年々深刻化しつつある人材不足や事業承継など様々な経営課題も重なって、中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は、深刻度を増しています。

3) 信用保証を取り巻く情勢

新型コロナウイルス感染症の発生・拡大に対応し、これによる我が国の経済活動の停滞を最小限にとどめるため、国をはじめ関係諸機関から様々な対策が打ち出され、今後もその動きは続いていくことが考えられます。保証協会としても、こうした動きに的確に対応するとともに、地域経済を支える一員としての主体性を発揮し、中小企業・小規模事業者の支援に全力を挙げる必要があります。

また、従前からの課題である創業・事業承継等への支援を含めた経営支援や経営者保証の適正化にも積極的に取り組む必要があります。

(2) 業務運営方針

令和2年度は、新型コロナウイルスによる経済への影響やこれに対する各種施策の動向を踏まえ、金融機関をはじめ関係諸機関と連携しつつ、全力で新型コロナウイルスに係る対策を推進します。

また、当協会の基本理念に掲げる「中小企業の良きパートナーとして信頼される保証協会」を実現するため、常に業務を「前進」させていくという意識のもと、保証や経営支援に積極的に取り組むとともに、特に、事業承継や経営者保証の適正化に向けた取組に注力します。

このため、各部門における業務運営方針を次のとおりとします。

1) 保証部門

新型コロナウイルスに係る対策に的確かつ柔軟に対応し、当面、これを最優先に全力を挙げて取り組みます。あわせて、関係機関と連携の上、企業のライフステージに応じた資金需要を的確に把握し、積極的に信用保証を提供することにより、経営改善や生産性の向上に向けた安定的な資金調達を支援し、地域創生に貢献します。

2) 期中管理・経営支援部門

新型コロナウイルスに係る対策に的確かつ柔軟に対応し、当面、これを最優先に取り組みます。あわせて、企業のライフステージに応じたきめ細かな経営支援を展開する。また、創業や事業承継に関する理解と関心を深めるイベントの開催等を通じて、創業・事業承継の機運の更なる醸成を図ります。

3) 回収部門

個々の求償権の内容を見極め、事業再生や生活再建の観点にも配慮しつつ、適切な進行管理を行い、効率的・効果的な回収を推進します。

4) その他間接部門

新型コロナウイルスに係る対策に協会あげて取り組むため、その体制を速やかかつ柔軟に構築するとともに業務改革を引き続き推進し、組織の更なる活性化や経営基盤の強化に努めます。また、公的機関としての社会的責任を果たすため、コンプライアンスの徹底に取り組みます。反社会的勢力等に対しては、関係機関との連携体制のもと、その一切を排除します。

2. 重点課題

【保証部門】

- 1) 新型コロナウイルスによる影響への的確な対応
- 2) 企業のライフステージに応じた資金需要の把握と保証の推進
- 3) 関係機関と連携した企業支援の推進

【期中管理・経営支援部門】

- 1) 新型コロナウイルスによる影響への的確な対応
- 2) 創業支援の推進
- 3) 経営改善・事業再生支援の推進
- 4) 事業承継支援の推進
- 5) 関係機関との連携強化

【回収部門】

- 1) 回収の最大化と効率化に向けた取組の実施
- 2) 事業再生、生活再建への支援
- 3) 効果的なサービスの活用

【その他間接部門】

- 1) 新型コロナウイルス対策に係る当面の体制整備
- 2) 業務改革の推進
- 3) 顧客満足度の向上・広報活動の充実
- 4) 組織の更なる活性化・人材の育成
- 5) コンプライアンス態勢の充実

3. 主要業務数値の計画

令和2年度の保証承諾等の主要業務数値（見通し）は以下のとおりです。

項目	金額	前年度計画比
保証承諾	5,000億円	125.0%
保証債務残高	1兆1,430億円	105.9%
代位弁済	285億円	146.2%
回収	57億円	93.4%